

# 営農技術情報

発行 令和3年3月4日  
第1号  
たいせつ農業協同組合  
営農部 農産販売課  
本所 営農センター 57-2357  
支所 営農センター 87-4111

## 積雪深が非常に多い年となりました融雪促進を実施しましょう！

3月4日現在の旭川アメダズの積雪深は102cm(過去10年の平均値63cm/対比162%)と極めて多い状況であり融雪の遅れが懸念されます。今後は平年に比べて平均気温が高い日が続く長期予報となりますが、融雪剤散布(水稻苗床、水田、畑作)による融雪促進を必ず実施しましょう。

### ◎融雪材散布時期の目安

- ・日平均気温が $-3^{\circ}\text{C}$ 以上になると雪解けが進むので、この頃に散布すると効果的です。  
(旭川アメダスの平年値:3月11日以降)
- ・新雪が20cm以上降ることが無くなり、散布日とその後4日間の晴天が見込まれる

### ～水 稲～

- ・水稻本田は地域に関わらずケイ酸分が不足しています。ケイ酸資材を使用し、融雪促進を図りましょう。
- ・置床の地温低下は出芽ムラや病害発生の原因となります。育苗箱の定置3週間前にはハウス内の積雪がない状態にし、融雪水や降雨による水の侵入を防ぐためにハウス周りに明渠を掘りましょう。

〔主な使用資材:ケイカル、ミネカル等〕  
サンアッシュ(水稻苗床)

表1 【水稻】 土壌分析値による施用

可給態ケイ酸 (mg/100g)	ケイカル施用量 (kg/10a)
10mg未満	180～240kg
10～13mg	120～180kg
13～16mg	60～120kg
16mg以上	60kg

### ～畑 作～

- ・秋播き小麦は、根雪期間が長期化すると冬枯れや雪腐病の蔓延・被害拡大の大きな要因となります。また、播種が遅れたほ場では越冬前茎数の不足が予想されますので、特に融雪を早めて茎数を確保しましょう。
- ・早期作業が必要な春播き小麦については、4月下旬までの播種が出来るようにしましょう。
- ・融雪水がほ場に停滞すると、小麦の枯死や生育遅延の原因となります。溝切りを実施して排水路につなぐなど、表面排水の促進に努めましょう。

表2 【畑作】 融雪剤の施用量

使用資材	10a当りの使用量
防散融雪タンカル	60kg
融雪アッシュ	
ブラックパワーN	

### ～温湯消毒の配送日について～

広報ひろばたいせつ3月号に合わせ令和3年用の水稻種子配送日についてご案内させていただきますが、雪解けによる作業の遅れが懸念されることから、配送希望日の変更を随時受けますので早めにご相談くださいますようお願いいたします。

### ～農作業事故に注意しましょう～

ハウス除雪・融雪材散布など、足元が悪い中での機械作業が多くなります。事前の機械点検や作業環境の確認を実施し農作業事故を未然に防ぎましょう。

また、一人で作業を実施される場合は家族や周辺の方に行先を伝え、いつでも連絡が取れるよう携帯電話を持ち歩きましょう。